

平成 13 年 度

東京学芸大学附属図書館概要



六双梅鶯のさう犬

東京学芸大学附属図書館

平成 13 年 5 月 1 日

目 次

	ページ
1 . 沿 革	1
2 . 組 織 と 職 員 数	3
3 . 主たる利用対象者数	3
4 . 図書館業務の電算化	4
5 . 蔵 書	6
6 . 視聴覚資料と電子化情報	8
7 . 開館・利用状況	10
8 . 施 設 ・ 設 備	11
9 . 広 報 活 動	12
10 . 経 費	13
11 . 館 内 平 面 図	14

表 紙

犬のさうし鶯梅双六

歌川（梅蝶楼）國貞（2世）（3世豊國）画・津下庄治郎彫り・鶯屋吉藏刊・嘉永5（1852）年・袋入り・72×74cm

里見義実を振り出しにして『南総里見八犬伝』の登場人物54人を並べた飛び双六。芳流閣での争いの場面上がりとしている。合巻『八犬伝犬の草紙』をもとに主要人物50人を大首絵として描いた50枚続きの「八犬伝犬の草紙」（2世國貞、鶯屋吉藏版）を各々、縮小して1枚とし、一覧できるようにしたものである。

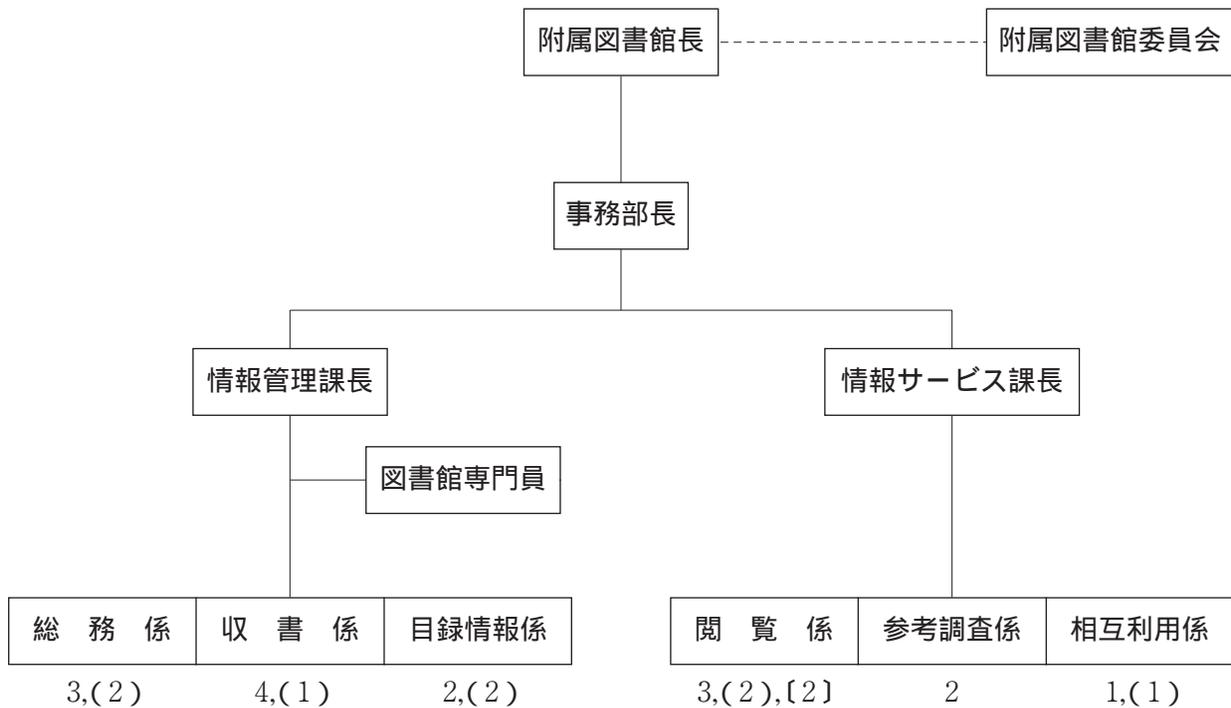
1 . 沿 革

- 昭和24年 5月 東京第一師範学校外 3 師範学校を包括して，東京学芸大学が設置され，同時に同附属図書館が設置された
本館を世田谷地区に置き，他に 4 分館・1 分室を置く
- ” 30年 3月 3 分館・1 分室を小金井分館へ統合
- ” 36年 3月 小金井地区に図書館施設を新築
- ” 36年 4月 小金井分館を本館とし，世田谷本館を分館とした
- ” 39年 3月 世田谷分館を小金井地区へ統合
- ” 49年 3月 現在の図書館施設を新築
- ” 50年 4月 事務部制が導入され 1 部・2 課（整理課・閲覧課）となる
- ” 52年 4月 電算機による閲覧業務を開始（OKITAC 50/40）
- ” 52年 7月 電算機による図書受入業務を開始
- ” 54年 5月 電気通信大学と閲覧業務共同処理システムを実施（昭和63. 3 まで）
- ” 56年 3月 情報検索端末装置を導入
- ” 56年 8月 電算機による雑誌受入業務を開始
- ” 61年 3月 ブックディテクションシステムを導入（住友スリーエム M-1850）
- ” 61年 3月 電算機を更新（HITAC L-470）
- ” 61年 3月 学術情報センター（現国立情報学研究所）ネットワークに加入
- ” 62年 3月 文献複写電送用ファクシミリを導入（キャノファックス Laser930G）
- ” 63年 4月 整理課を情報管理課に，閲覧課を情報サービス課に名称変更
- 平成 2 年 4月 電算機を更新（HITAC M-620/20）
- ” 2 年 4月 情報処理センターシステムに図書館サブシステムが設けられ，それにより目録作成業務を開始
（オムロン データゼネラル ECLIPSE MV/2500DC）
- ” 2 年 6月 オンライン利用者目録（OPAC）の運用開始
- ” 3 年 2月 CD-ROM 導入
- ” 4 年 4月 ILL システムの運用開始
- ” 4 年 10月 授業期の土曜開館を実施
- ” 6 年 2月 電算機を更新（HITAC M-840/20）
- ” 6 年 3月 視聴覚資料利用室の設備を更新
- ” 6 年 7月 自己点検・評価を実施
- ” 7 年 1月 授業期の日曜・休日開館を実施
- ” 7 年 2月 本学教官の研究成果を収集開始
- ” 7 年 3月 情報処理センター・図書館サブシステムを更新
（UNIX システム：LIMEDIO, CD-ROM サーバ）
- ” 7 年 7月 自己点検・評価報告書「総合学術情報サービスに向けて - 自己点検・評価と将来計画 - 」を発行
- ” 8 年 1月 2 階閲覧室を改修し，時間外開館時も開放
- ” 8 年 3月 パソコン端末設置閲覧室及び情報コンセント等設置閲覧席を整備

平成 8 年 4 月	連合大学院学校教育学研究科学生の構成大学附属図書館の利用等に関する取扱い（申合せ）を取り交わす
” 8 年 5 月	ホームページを開設
” 8 年 10 月	学術情報委員会が発足
” 8 年 12 月	1 階及び 2 階に開架書架を増設
” 9 年 3 月	雑誌の配架換を実施（タイトル順）
” 9 年 3 月	特別資料閲覧室を設置し、視覚障害者用機器等を整備
” 9 年 3 月	ブックディテクションシステムの更新（住友スリーエム M-2301）
” 9 年 4 月	夜間大学院及び昼夜開講制開設に伴い、時間外開館時間を延長
” 9 年 4 月	新聞閲覧室にコピーコーナーを整備
” 9 年 9 月	紀要の配架換えを実施（大学名の 50 音順）
” 9 年 10 月	望月文庫往来物資料画像データ作成（平成 9 年度科学研究費）
” 9 年 12 月	図書館会議室を改修
” 10 年 1 月	教育史関係書誌データ入力実施（平成 9 年度科学研究費）
” 10 年 2 月	電算機を更新（SUN Ultra2 Model 2170）
” 10 年 2 月	入館管理システムを設置
” 10 年 3 月	特別資料閲覧室に視覚障害者用機器等を拡充整備
” 10 年 3 月	視覚障害者用点字ブロック等を設置
” 10 年 4 月	貸出冊数を変更
” 10 年 7 月	コピーコーナーに複写機を 1 台増設
” 10 年 7 月	研究室等所蔵資料のうち返却希望資料のアンケート調査を実施
” 10 年 7 月	東京学芸大学自己点検・評価及び外部評価の一環として附属図書館自己点検・評価を実施（第 2 次自己点検・評価）
” 11 年 1 月	館内トイレの部分改修（1 階）
” 11 年 2 月	望月文庫往来物資料画像データ作成（平成 10 年度科学研究費）
” 11 年 2 月	教育史関係書誌データ入力実施（平成 10 年度科学研究費）
” 11 年 3 月	情報処理センター・図書館サブシステムを更新 (SUN Ultra 30 Model 300)
” 11 年 3 月	開架書架を増設
” 11 年 3 月	図書の不用品決定及び廃棄の基準を制定
” 11 年 3 月	研究室等からの返却図書約 3 万 1 千冊を整理
” 11 年 7 月	「東京学芸大学五十年史」をホームページ上で公開
” 11 年 8 月	1 階新聞閲覧室に飲料の自動販売機を設置
” 12 年 1 月	研究室等からの返却図書 8 千冊を整理
” 12 年 1 月	望月文庫往来物資料画像データ作成（平成 11 年度科学研究費）
” 12 年 3 月	教育史関係書誌データ入力実施（平成 11 年度科学研究費）
” 12 年 6 月	読書実態調査の実施（全国国立教育系大学附属図書館協議会）
” 12 年 7 月	図書 7, 252 冊を不用品決定
” 12 年 8 月	OPAC（オンライン利用者目録）のバージョンアップ

2. 組織と職員数

(1) 組織



注： ()内は外数で非常勤職員数。
 []内は外数で定時外等勤務（臨時）非常勤職員数。

(2) 職員数

事務部長	課長	図書館専門員	係長	係員（含主任）	合計
1	2	1	6	9(8),[2]	19,(8),[2]

注：(1)の注に同じ。

3. 主たる利用対象者数

(1) 学生数（平成13年5月1日現在）

学部学生	特別専攻科学生	大学院学生	その他の学生	合計
5,340	32	959	405	6,736

(2) 教職員数（平成13年5月1日現在）

学長	教授その他の教官	附属学校教諭	その他の職員	合計
1	378	343	244	966

4 . 図書館業務の電算化

(1) 電算機システム

電算機システムは、①図書館事務用電算機システムと②情報処理センターシステム・図書館サブシステムによって構成されている。

システム	機種等	業務・サービス	備考
図書館事務用電算機システム	ハードウェア SUN Ultra 2 Model 2170 COMPAQ他 ソフトウェア LIMEDIO 他	①閲覧・貸出業務 ②図書受入業務 ③雑誌受入・目録作成業務 ④図書目録作成業務 ⑤相互利用業務 ⑥参考業務	昭和52年度開始 平成9年度更新
情報処理センターシステム・図書館サブシステム	ハードウェア SUN Ultra 30 Model 300 HP 他 ソフトウェア LIMEDIO 他	①オンライン目録検索 ②電子図書館の構築 ③ネットワークCD-ROM検索 ④図書館ホームページの提供	平成2年度開始 平成10年度更新

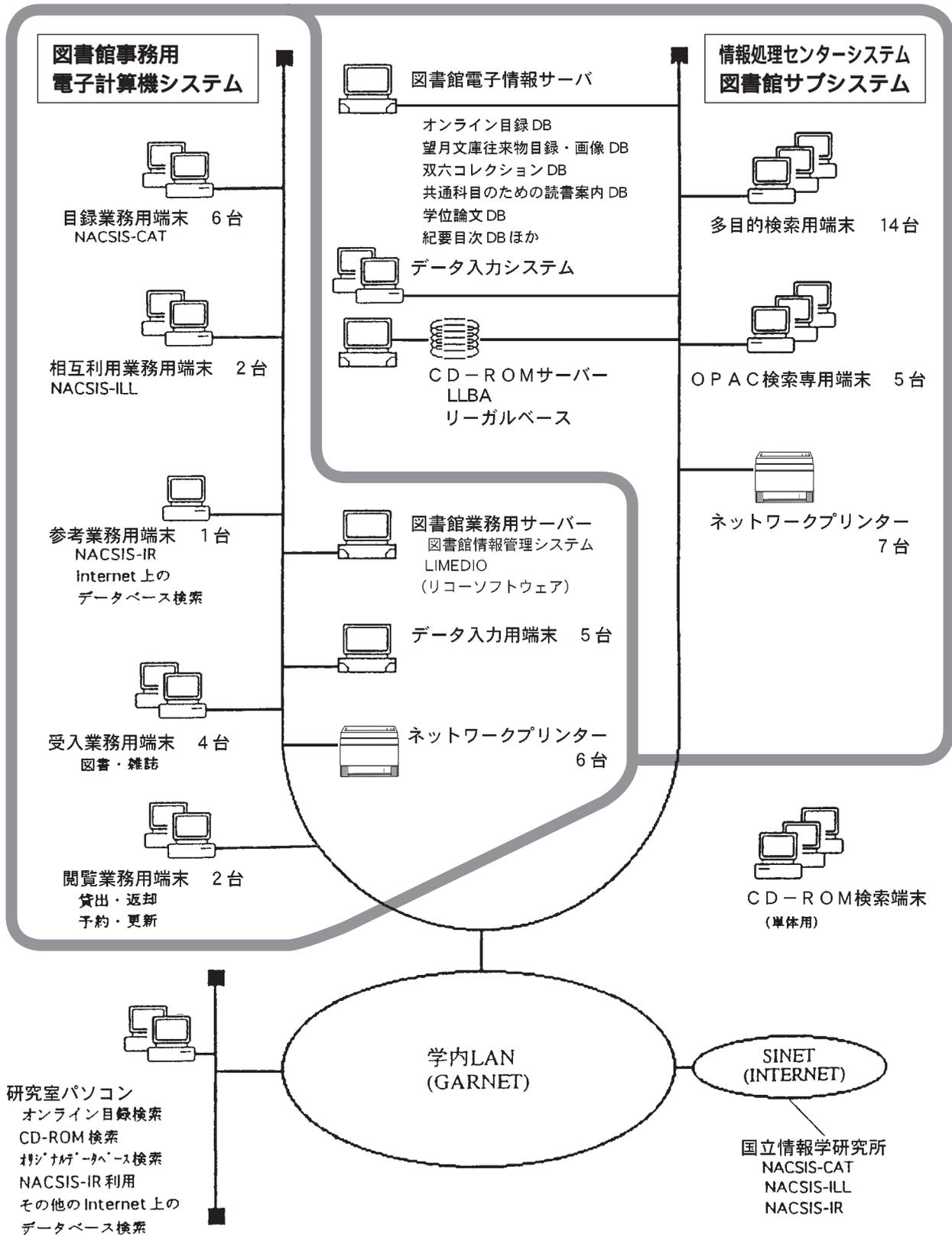
(2) オンライン利用者目録（OPAC）

平成12年度末現在におけるオンライン利用者目録（OPAC：Online Public Access Catalog）の図書データは、約449,000件に達しており、引き続きデータの遡及入力が進められている。

図書館内の1階、2階、地階には、OPAC検索用端末が19台設置されているが、このうちの14台にはWWWブラウザが搭載され、多目的検索用端末として活用されている。

なお、附属図書館電算機システムが学内LANに接続されていることから、当然、図書館内ばかりではなく、学内研究室や学外からの24時間検索が可能となっている。

東京学芸大学 附属図書館電算機システム概念図



5 . 蔵 書

(1) 蔵 書

(平13. 3. 31現在)

区分 \ 種別	図 書 (冊)	学 術 雑 誌 (種類)
和 書	638,740	6,762
洋 書	267,526	3,116
合 計	906,266	9,878

(2) 平成12年度受入図書冊数及び雑誌種類数

図 書 10,141冊 (2,376冊)

雑 誌 2,693種類 (1,061種類)

注1：図書冊数は備品のみの数字。

注2：()内は内数で附属図書館備付分。

(3) 文庫・コレクション

① 文 庫

ア．望月文庫 (東京府青山師範学校創立50年記念文庫) 7,627冊

大正15年に、東京府青山師範学校創立50年記念事業の一つとして、師範教育に関係ある図書を集めたコレクションで、望月軍四郎氏らの厚意によって設置したもの。内容は、往来物、明治初年以來の初等教育の教科書及び教育書等。

イ．松浦文庫 1,470冊

松浦鎮次郎氏を中心とする教育史編纂会が、昭和13年に「明治以降教育制度発達史」を完成し、会を解散するにあたってその図書・資料を、東京府大泉師範学校に寄贈されたもの。内容は、松浦氏自筆草稿、教育法規、小学校教科書、教育史関係資料等。

ウ．竹早文庫 約14,000冊

東京第一師範学校女子部が、戦時中文部省の外郭団体であった日本文化中央連盟から昭和22年その蔵書を一括購入したもの。内容は、哲学、史学、文学及び社会科学の分野を中心とする単行図書、全集、学術雑誌等。

エ．瀬川文庫 1,356冊

本学元教授故瀬川三郎氏の旧蔵書を、昭和44年清子未亡人から寄贈されたもの。内容は、ギリシャ文化・思想を始め、本学で教授された教育原理、教育哲学関係の図書等。

注：望月文庫と松浦文庫は貴重図書

② 大型コレクション

ア．ドイツ教育学集書 2,478冊

1820年～1957年にかけてドイツで出版された図書，雑誌，モノグラフ・シリーズからなる。特に二つの世界大戦をはさむ1920～30年代のものが多い。

イ．英国教育学文献集成 2,011冊

1900年以降発行のイギリスの教育関係資料であるが，ヨーロッパ諸国等の教育関係資料も若干含む。資料は，幼稚園から大学までの各レベルにわたっている。

ウ．フランス教育学集書 176冊

17世紀以降フランスにおいて発行された教育論，教育史，教育方法に関する集書。

エ．ロシア・ソビエト教育研究雑誌コレクション（マイクロフィッシュ） 522シート

19～20世紀のロシア，ソビエトにおける教育関係の雑誌，目録，個人著作などのマイクロ資料。

オ．ヘボンその他の外国人編纂による日本語・東洋語辞書コレクション 25冊

ヘボンの「和英辞典」初版（1867）をはじめとする幕末から明治期に刊行された，外国人による日本語・東洋諸国の辞典18種。そのほとんどが稀覯の原本。

カ．欧米障害児教育基本文献集成 866冊

特殊教育に関する米，英，独，仏の文献。1956年以降に刊行された図書を中心とし，内容は，心理学，教育学，生理学全般にわたる。

キ．双六コレクション - 近世庶民教育資料 - 97点

小学尋常科高等科修業壽語禄，教育善悪子供双六，単語の図壽古呂久，女教訓出世双六など，近世庶民教育及び近世児童教育に寄与した，江戸から明治までの双六コレクション。

ク．17世紀 - 19世紀フランス教育史コレクション 262タイトル (276冊)

17世紀中葉から19世紀までに出版されたフランス教育に関する稀覯本を含む。

ケ．ルドルフ・シュタイナー - 文献コレクション 690タイトル (740冊)

ルドルフ・シュタイナーの著作・講演録418点及びその弟子達の著作272点。内容は，人智学，神智学を中心に宗教，教育，芸術等の分野にわたっている。

③ マイクロフィッシュ等

ERIC 資料 439,549シート

ERIC (Educational Resources Information Center) が作成した教育関連分野の文献に関する二次情報のうち，RIE (Resources in Education) に収載された原報（一次情報）の殆どをマイクロフィッシュにて所蔵。

6 . 視聴覚資料と電子化情報

(1) 視聴覚資料

昭和50年度から視聴覚資料室を整備し、レコ-ド、テ-プ、フィルムなど、印刷物では得られない映像や音などの資料の収集、提供を行ってきた。平成5年度には、視聴覚機器の大幅な拡充・整備を行い、さらに平成7年度には視聴覚資料室をオープン化し、利用コーナーとして整備した。

① 機器

・LDプレーヤー	2	(台)	
・ビデオデッキ	8	(＼)	(VHS 7, Beta 1)
・CDプレーヤー	8	(＼)	
・ステレオ装置	4	(セット)	

② ソフト

・LD	114	(タイトル)	
・ビデオ	761	(タイトル)	
・CD	1,277	(タイトル)	
・レコ-ド	1,331	(タイトル)	
・カセット	237	(タイトル)	
・映画フィルム(16mm, 8mm)	128	(タイトル)	他

(2) CD-ROM

平成3年度からスタンドアロン方式によるサ-ビスを開始し、平成6年度末からCD-ROMサ-バを導入して学内LAN上で提供している。

① 機器

・CD-ROMサ-バ	一式	(HP NetServer LCII PII / 266 M4200 HS-64)
・COMPAQ	2台	(PROLINEA 4/66 DESKPRO 2000)
・NEC	1台	(PC-98)

② ソフト

- ・CD-ROMサ-バ搭載方式
 - ・LLBA(1973~)
 - ・リーガルベース(全判例必要全文)
- ・スタンドアロン方式
 - ・朝日新聞見出しデータベース(1945~1999)
 - ・International ERIC
 - ・Oxford English Dictionary
 - ・平凡社世界大百科事典
 - ・理科年表CD-ROM
 - ・国立国会図書館蔵書目録
 - ・大宅壮一文庫雑誌記事索引
 - ・点字図書・録音図書全国総合目録 ほか

(3) オンラインデータベース

平成11年度から外部機関作成のネットワーク型データベースを導入した。

- ① 館内の特定のパソコンで利用するもの
 - ・DNA朝日新聞全文記事データベース
- ② 学内LANに接続したパソコンで利用可能なもの
 - ・雑誌記事索引
 - ・PsycINFO
 - ・ProQuest Digital Dissertations
 - ・MathSciNet ほか

(4) 自館作成データベース

平成8年5月にホームページを公開し、OPACの他に以下のような自館で作成するデータベースを提供している。

- ① 共通科目のための読書案内データベース
- ② 望月文庫往来物目録・画像データベース
- ③ 本学紀要目次データベース
- ④ 双六コレクションデータベース(画像)
- ⑤ 学位論文(修士及び博士)目録データベース
- ⑥ 購入雑誌目録データベース
- ⑦ 指定図書データベース

(5) パソコン端末設置閲覧席・端末設置閲覧室

平成8年4月から、パソコン端末を設置した閲覧室をオープンするとともに、一般閲覧室内にもパソコン端末を設置した閲覧席を設けている。平成10年度の情報処理センターシステムの更新によりパソコン端末閲覧室の端末は情報処理センターのX端末に切り換わった。

これらの端末はすべて学内LANに接続されており、多目的に利用することができる。

- ① 端末設置閲覧室 (2F)

X 端末 21台 (X MiNT CSV)

- ② パソコン端末設置閲覧席 (2F)

Macintoshパソコン 3台 (Power Macintosh 6200)

7 . 開館・利用状況

(1) 開館時間

授業期	月曜日 ~ 金曜日	9 : 00 ~ 22 : 00
	土曜・日曜・休日	10 : 30 ~ 16 : 30
休業期	月曜日 ~ 金曜日	9 : 00 ~ 17 : 00

(2) 利用状況（平成12年度）

開館日数 311日（平日 226日，土曜 37日，日曜・休日 48日）

入館者数 498,818人（1日平均 1,604人）

平日	463,278人	（1日平均 2,050人）
土曜	15,289人	（ " 413人）
日曜・休日	20,251人	（ " 422人）

貸出冊数 71,114冊（1日平均 229冊）

平日	64,837冊	（1日平均 287冊）
土曜	2,578冊	（ " 70冊）
日曜・休日	3,699冊	（ " 77冊）

貸出者数 34,530人（1日平均 111人）

(3) 相互協力（平成12年度）

文献複写	学外への依頼	3,974件
	学外からの受付	4,120件

現物貸借	貸出	642冊	（7(2)の内数）
	借入	398冊	

閲覧	依頼	643件
	受付	1,580件

(4) 市民への公開

平日：館内閲覧 文献複写 レファレンス 各種情報検索

土・日・休日：館内閲覧 文献複写 各種情報検索
（授業期のみ）

8 . 施 設 ・ 設 備

(1) 図書館施設

① 構 造	R C 地下 1 階地上 3 階建	6,241 m ²
② 使用区分	A サ - ビススペ - ス	3,099 m ² (49.6%)
	(A) 閲覧スペ - ス	1,961 m ² (31.4%) (視聴覚スペース含む)
	(B) その他	1,138 m ² (18.2%)
	B 管理スペ - ス	1,709 m ² (27.4%)
	(A) 書 庫	1,048 m ² (16.8%)
	(B) 事務スペ - ス	661 m ² (10.6%)
	C その他	1,433 m ² (23.0%)
閲覧座席数	495 席	
開架図書冊数	約 110,000 冊	
書架収容力	棚板延長 21,216 m	
	収容可能冊数 約 589,300 冊	

(2) 図書館近代化主要設備

① 電動集密書架	一式
② 入館管理システム	一式
③ ブックディテクションシステム	一式
④ マイクロリーダープリンター等	3 台
⑤ 視覚障害者用機器	一式

(3) 視聴覚ホ - ル (A V ホール)

① 座席数	112 席
② 備付機器	映写機 16mm フィルム用 1 台
	8mm フィルム用 2 台
	スライド投影機 4 台
	OHP 1 台
	ビデオプロジェクター 1 台
	映像音響機器 一式

9 . 広 報 活 動

出 版 物

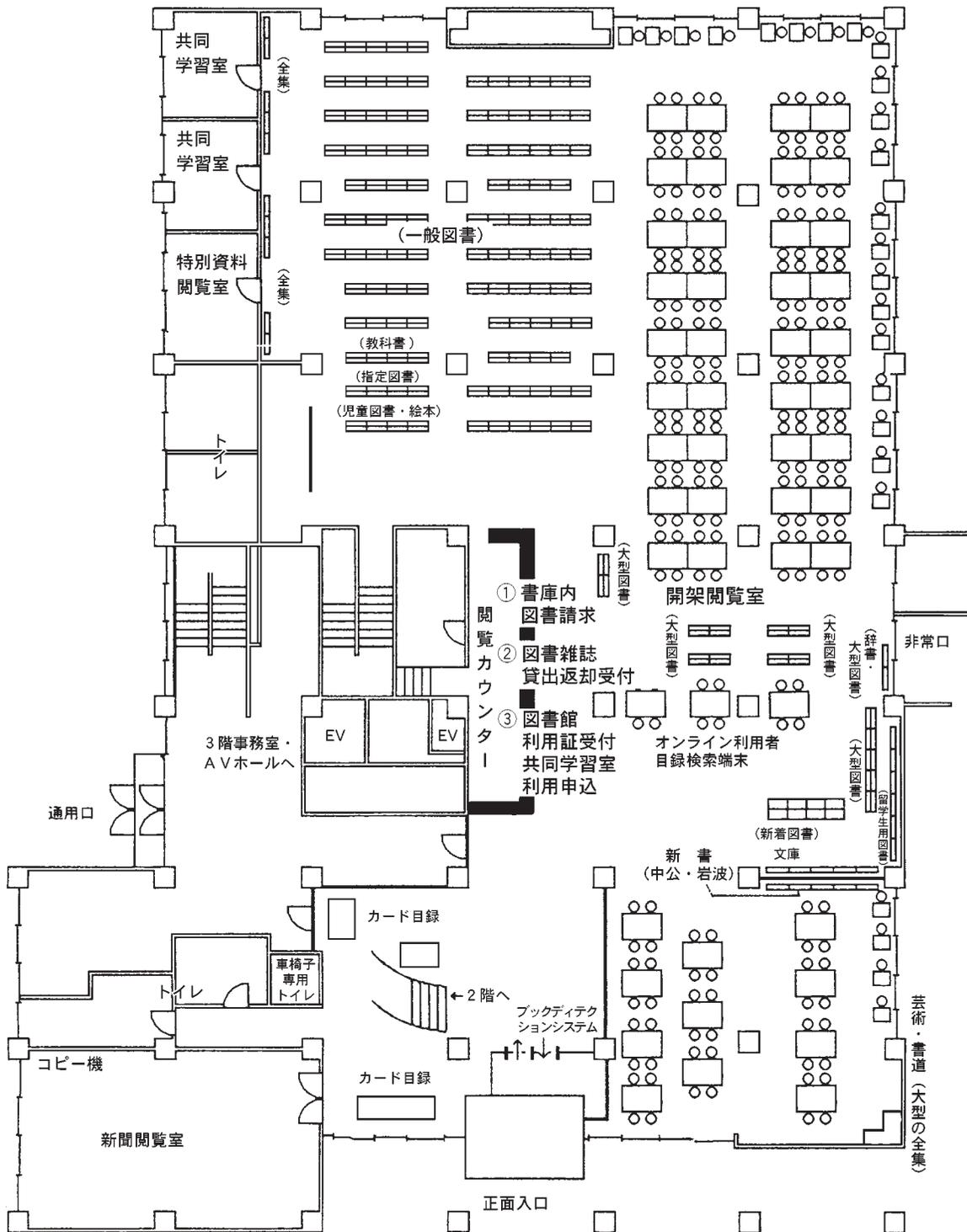
- ① 東京学芸大学附属図書館報「図書館ニュース」
- ② 図書館利用案内
- ③ 共通科目のための読書案内
- ④ 東京学芸大学附属図書館概要
- ⑤ 東京学芸大学附属図書館年次報告

10. 経 費

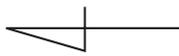
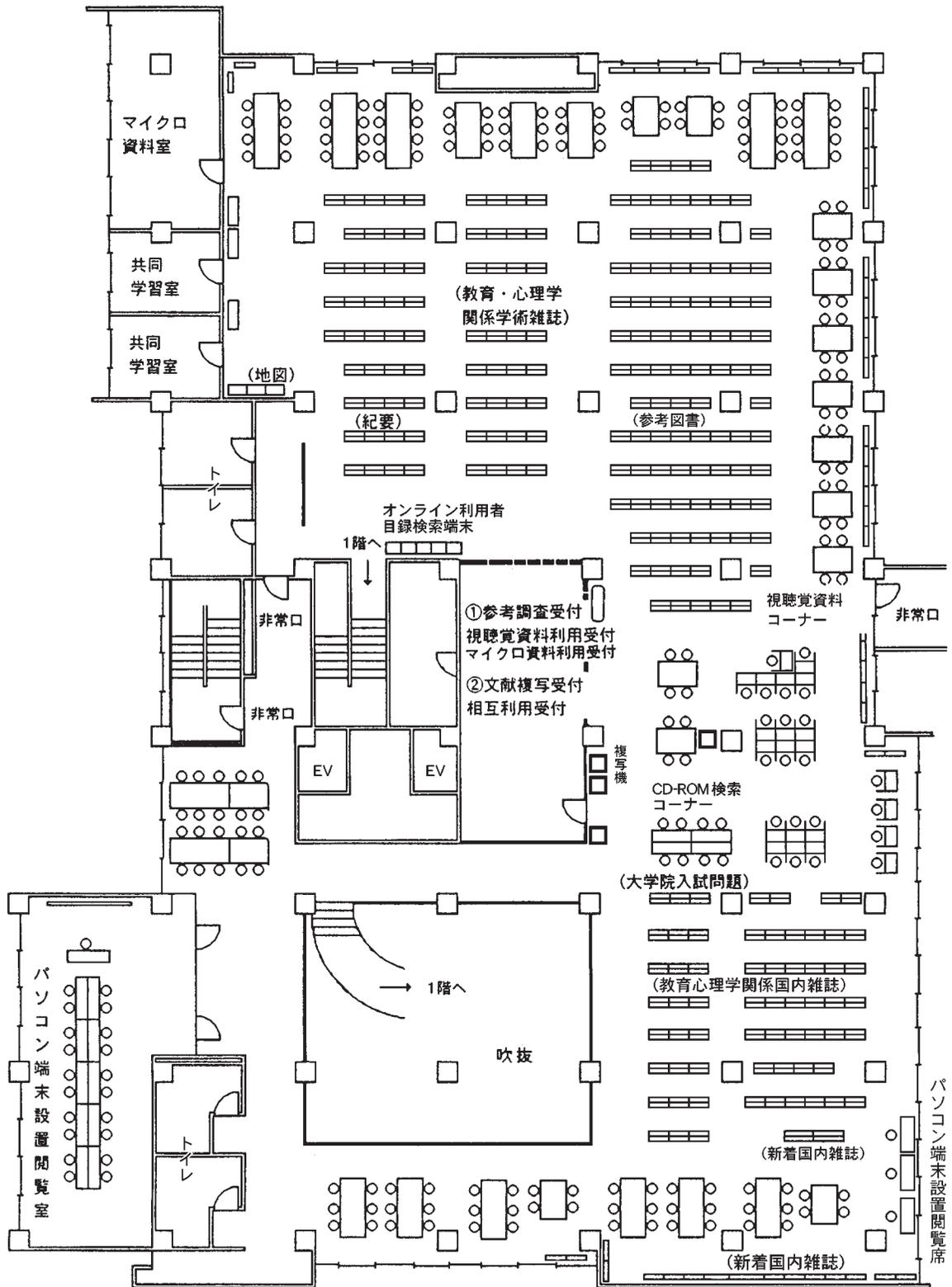
(単位：千円)

		予 算 項 目	平 成 11 年 度	平 成 12 年 度
図 書 購 入 費	附 属 図 書 館	図 書 館 図 書 費	36,185	35,784
		学 生 用 図 書 購 入 費	9,188	9,099
		参 考 図 書 購 入 費	154	154
		特 別 図 書 購 入 費	380	380
		外 国 図 書 購 入 費	0	0
		外 国 雑 誌 購 入 費	234	236
		電 子 的 情 報 資 料 購 入 費	326	270
		小 計	46,467	45,923
		そ の 他		
		留 学 生 経 費	800	800
	生 活 科 教 育 特 別 経 費	0	0	
	小 計	800	800	
	研 究 室 等	教 官 研 究 用 図 書 費	115,261	102,153
		附 属 学 校 等 図 書 費	1,546	1,461
小 計		116,807	103,614	
		合 計	164,074	150,337
製 本 費	図 書 ・ 雑 誌 製 本 費		1,321	1,321
	研 究 室 等 雑 誌 製 本 費		3,010	2,975
	小 計		4,331	4,296
		紀 要 出 版 費	9,576	9,425
		総 合 計	177,981	164,058

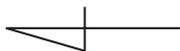
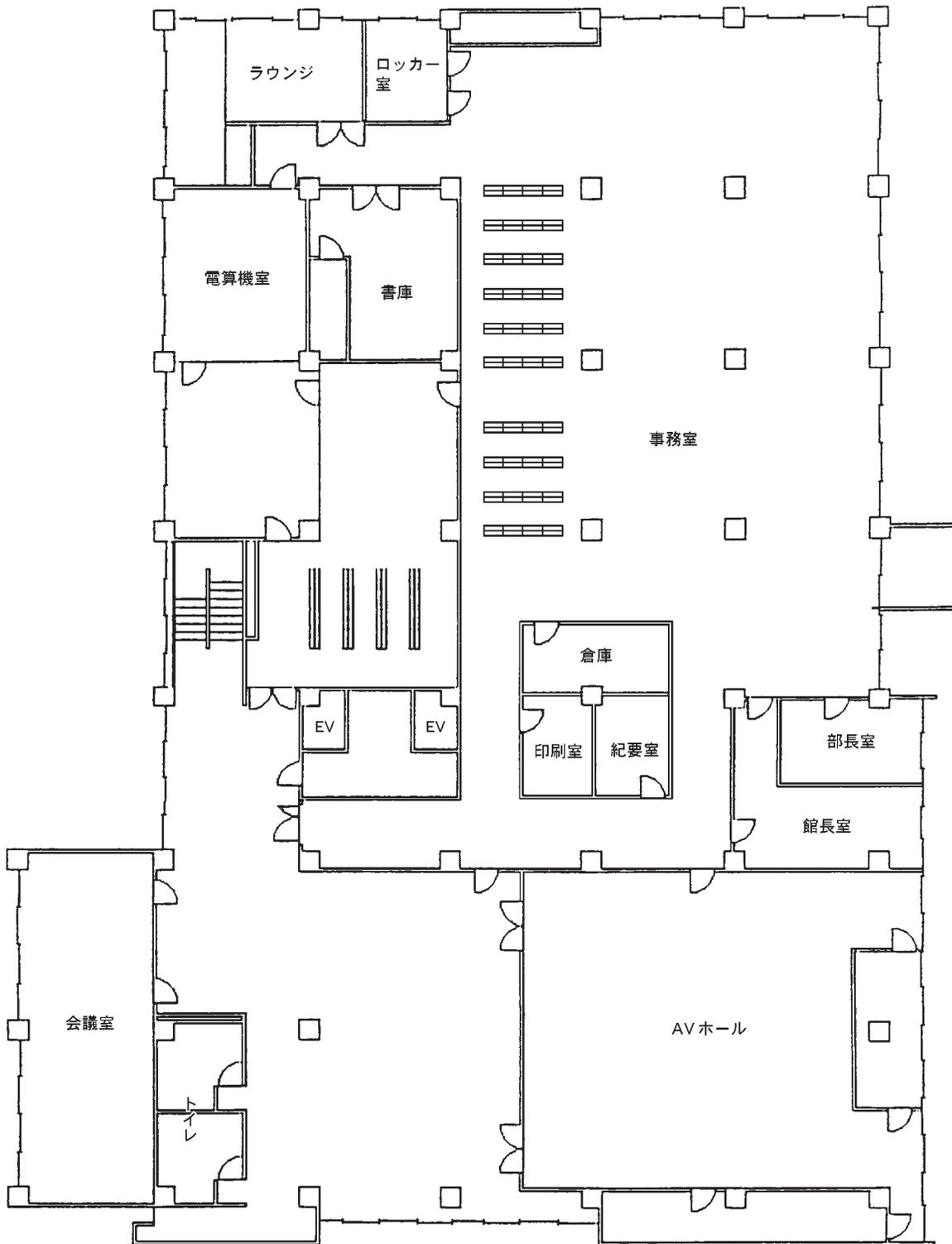
11. 館内平面図 (1階)



(2 階)



(3 階)



(地階)

